

二級河川 印南川水系
河川整備計画(素案)について
【参考資料】

令和5年3月

和歌山県

二級河川印南川水系 河川整備計画(素案)

1. 流域及び河川の概要

2. 河川整備の現状と課題

- (1) 洪水等による災害の防止又は軽減に関する現状と課題
- (2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能に関する現状と課題
- (3) 河川環境の現状と課題
- (4) 河川維持管理の現状と課題

3. 河川整備計画の目標に関する事項

- (1) 基本的な考え方
- (2) 計画対象区間
- (3) 計画対象期間
- (4) 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
- (5) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
- (6) 河川環境の整備と保全に関する目標

4. 河川の整備の実施に関する事項

- (1) 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要
 - ① 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
 - ② 河川環境の整備と保全に関する事項
- (2) 河川の維持の目的、種類及び施行の場所
 - ① 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項
 - ② 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項
 - ③ 河川環境の整備と保全に関する事項

5. その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

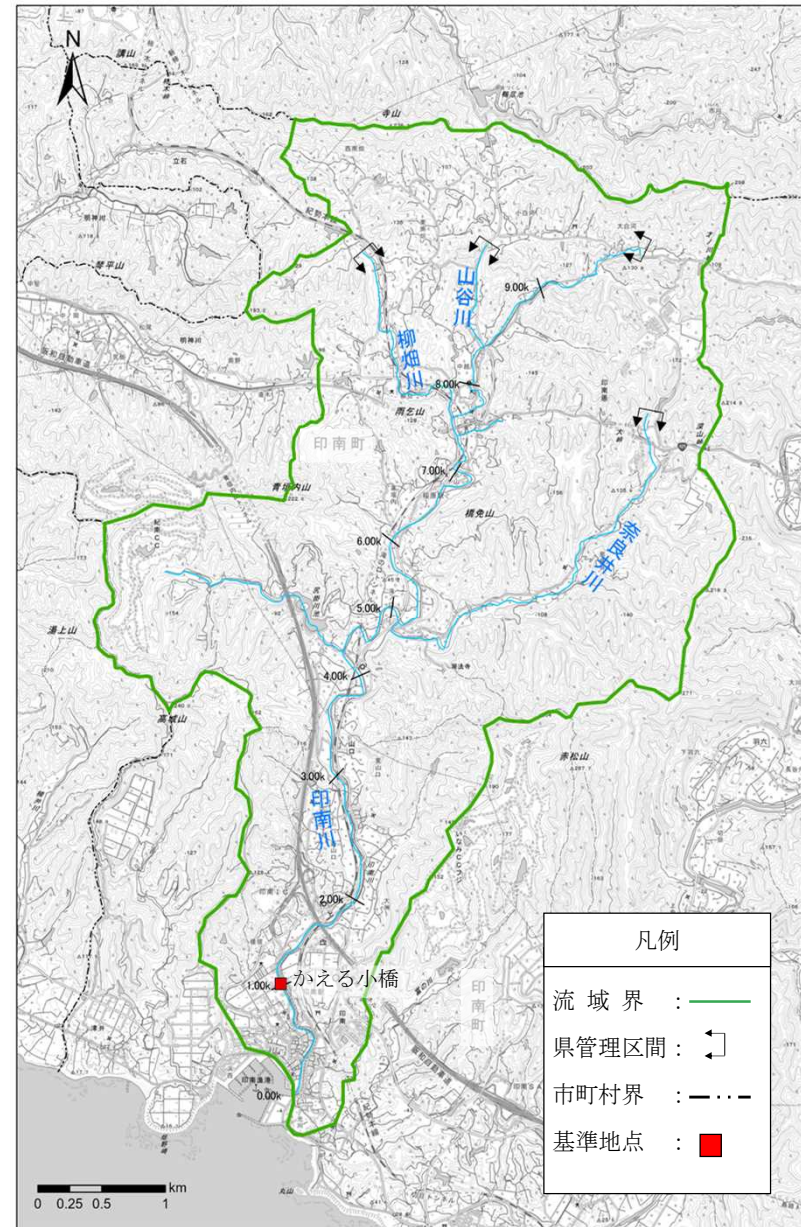
流域及び河川の概要

○流域図

- 幹川流路延長：約11km
- 流域面積：約20km²



位置図

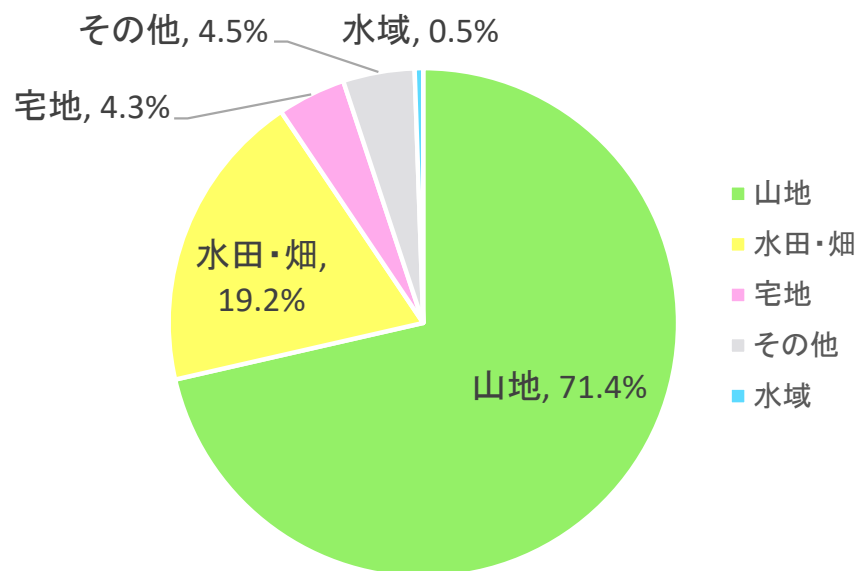


流域図

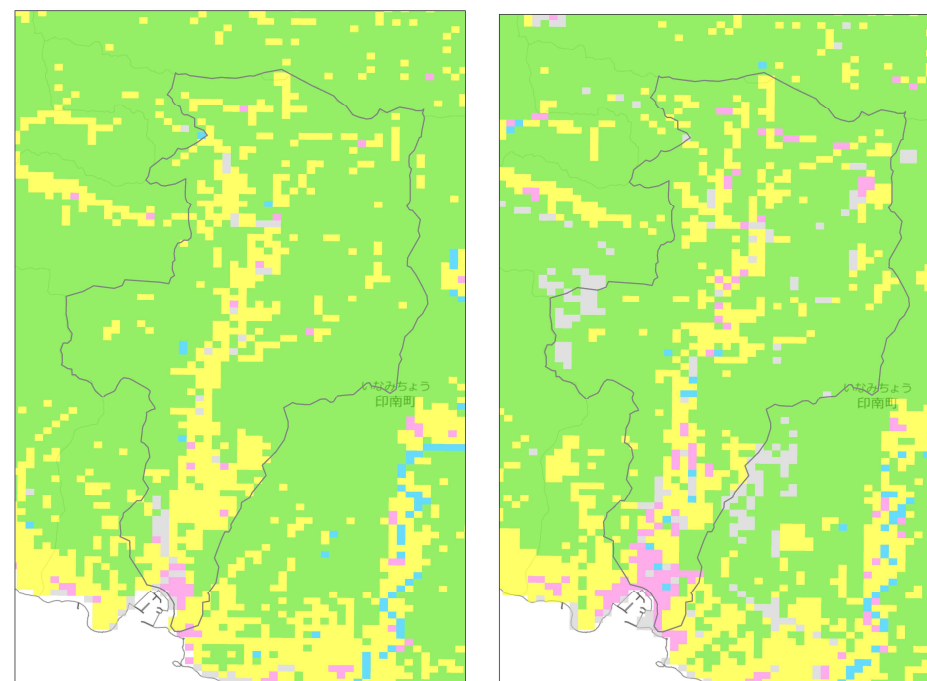
流域及び河川の概要

○流域の土地利用

- 山地が70%以上を占め、水田・畑が約20%、宅地が約4%
- 昭和51年(1976年)から平成28年(2016年)の間に、水田・畑が減少し、宅地が増加



土地利用区分図(平成28年度)



昭和51年(1976年)

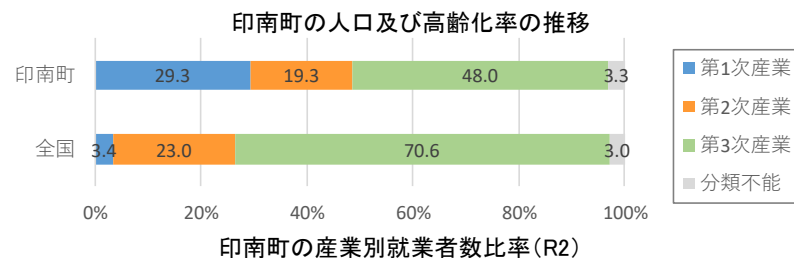
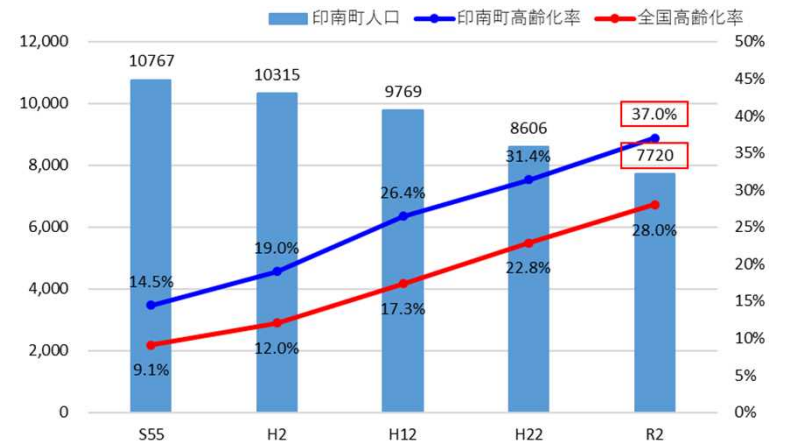
平成28年(2016年)

土地利用区分図(出典:国土数値情報【土地利用メッシュ】)

流域及び河川の概要

○流域の社会環境

- 人口は約7,700人で減少傾向、高齢化が進行
- 産業別就業者数の割合は、第一次産業が約30%、第二次産業が約20%、第三次産業が約50%、全国平均と比べて、第一次産業の割合が高い
- 流域では、エンドウ類や小玉スイカ、ミニトマト、スターチス、水稻等が盛んに栽培



【エンドウ】



【小玉スイカ】



【ミニトマト】

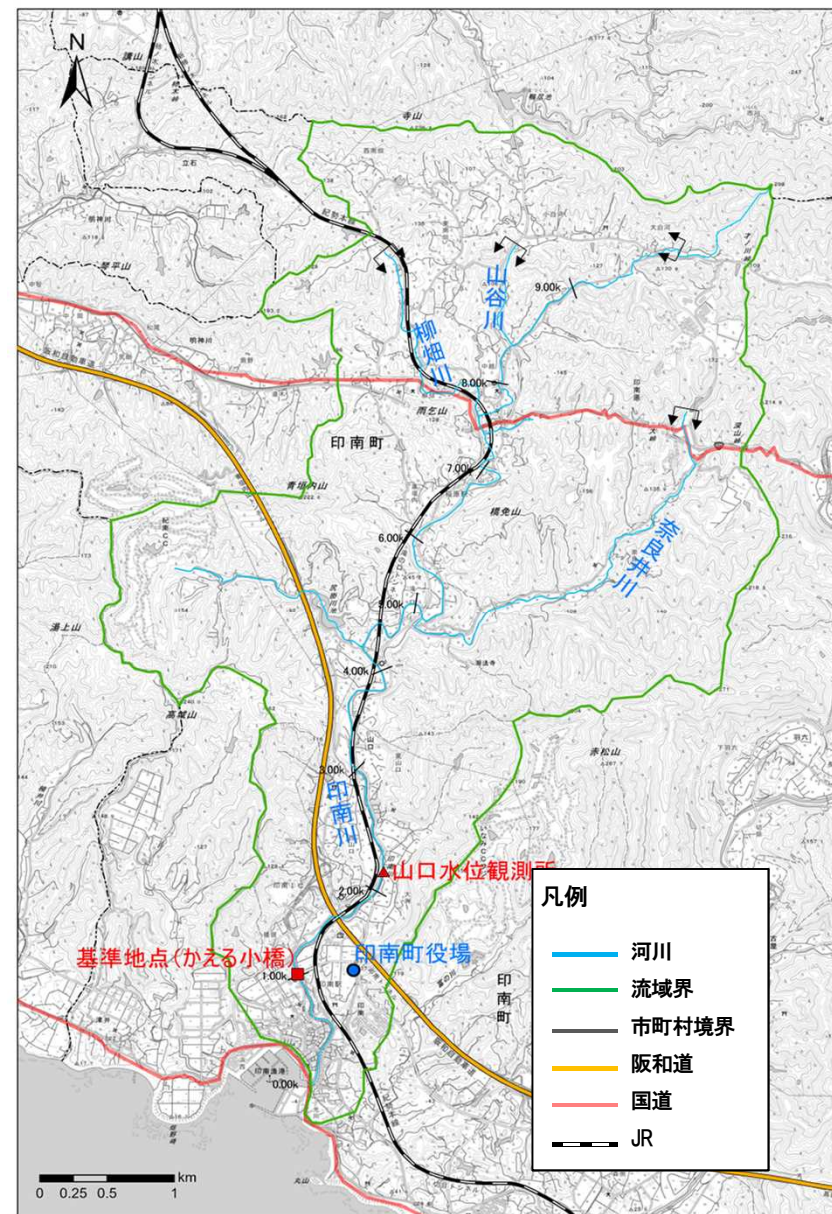


【スターチス】

流域及び河川の概要

○流域の交通等

- 町役場が立地する中心地
下流域の平地に住家が集積
- 印南川沿いは、JR紀勢本線が
並走
- 阪和自動車道、国道42号、
国道425号等、交通の要衝

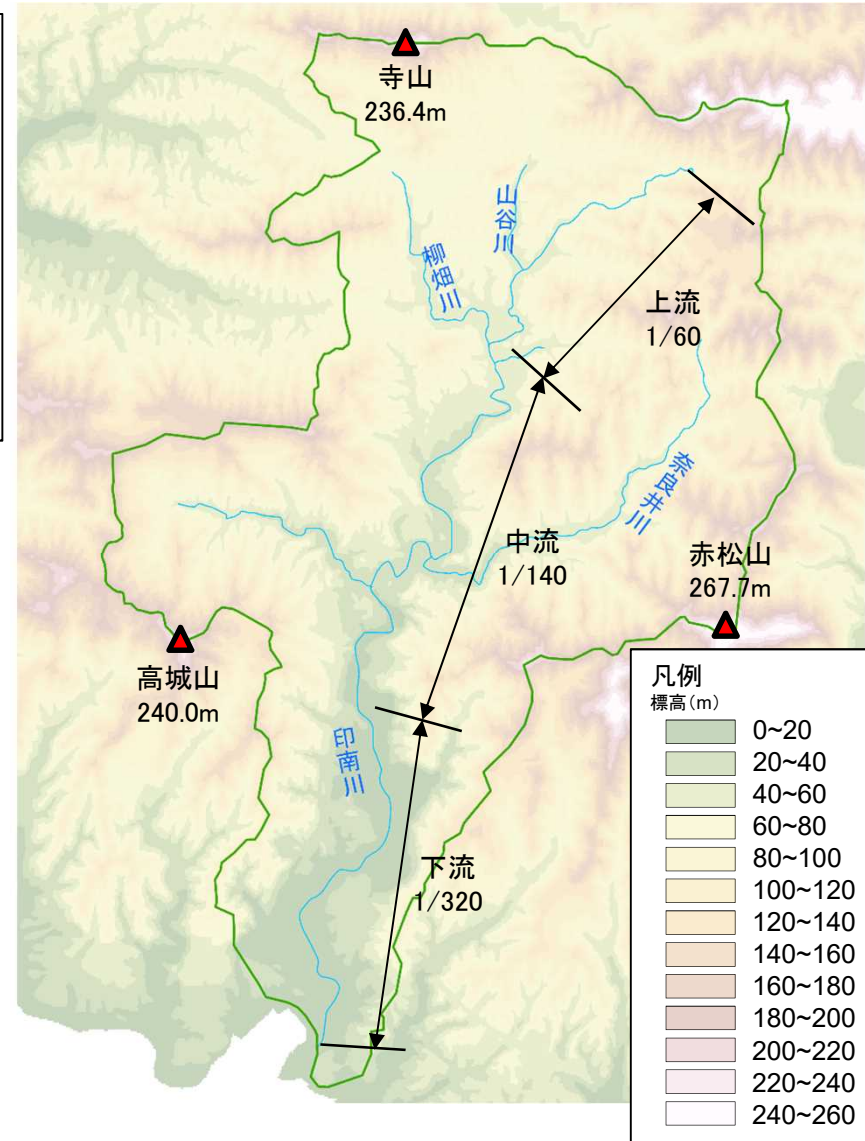
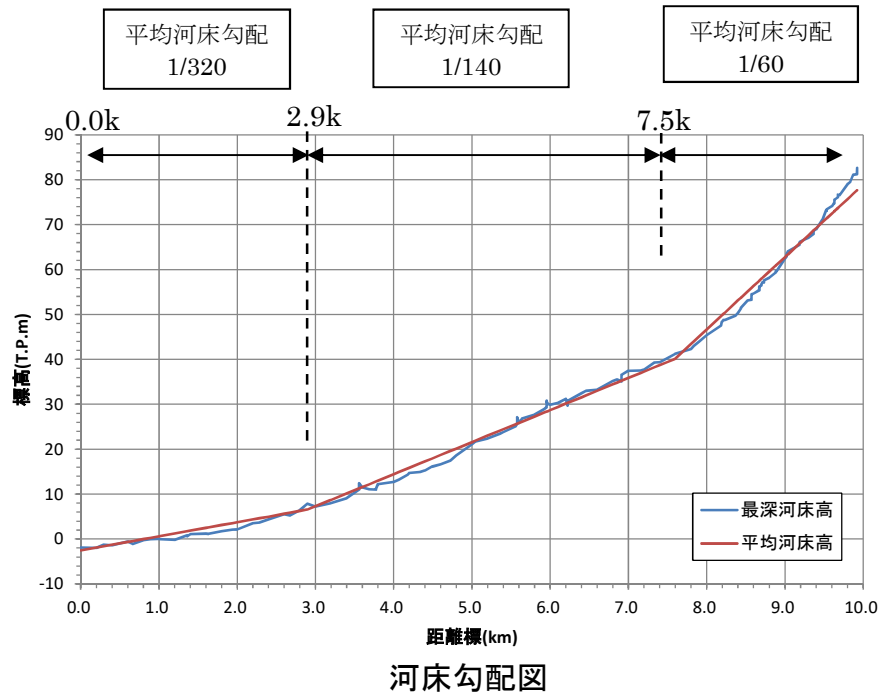


流域の交通ネットワーク図

流域及び河川の概要

○流域の地形・河道特性

- 標高200m～300m程度の山地・丘陵に囲まれる
- 上流から中流にかけては谷底平野が、下流には三角州の発達しない狭隘な平野部が形成
- 河床勾配は上流で1/60程度、中流で1/140程度、下流で1/320程度



流域及び河川の概要

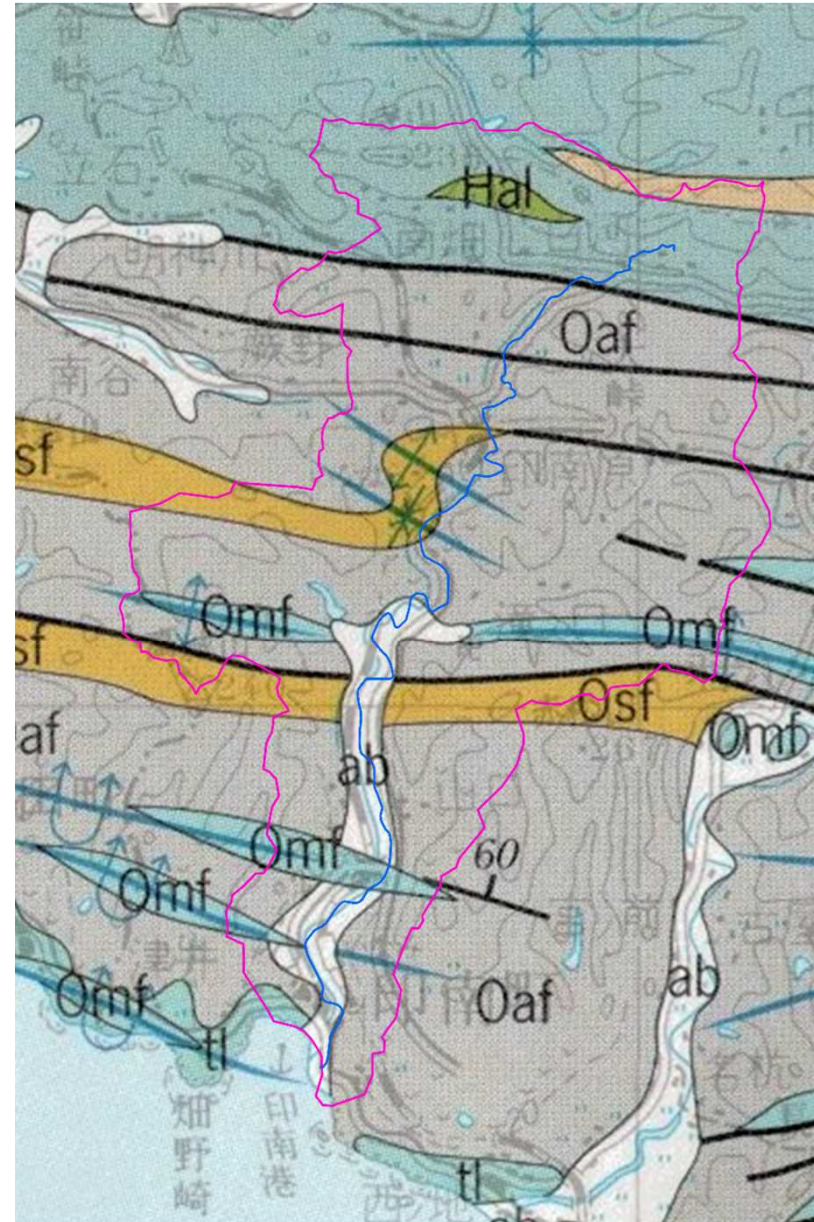
○流域の地質

- 四万十帯の音無川層群が主体
- 主に砂岩と泥岩の互層から構成

【四万十帯 音無川層群】	
Omf	泥岩
Oaf	砂岩・泥岩互層
Osf	砂岩

【四万十帯 日高川層群】	
Hms	泥岩 <small>(緑色岩・チャート・砂岩及び珪長質凝灰岩を伴う)</small>
Hal	砂岩・泥岩互層 <small>(緑色岩・チャート・砂岩及び珪長質凝灰岩を伴う)</small>

【その他】	
ab	砂・泥

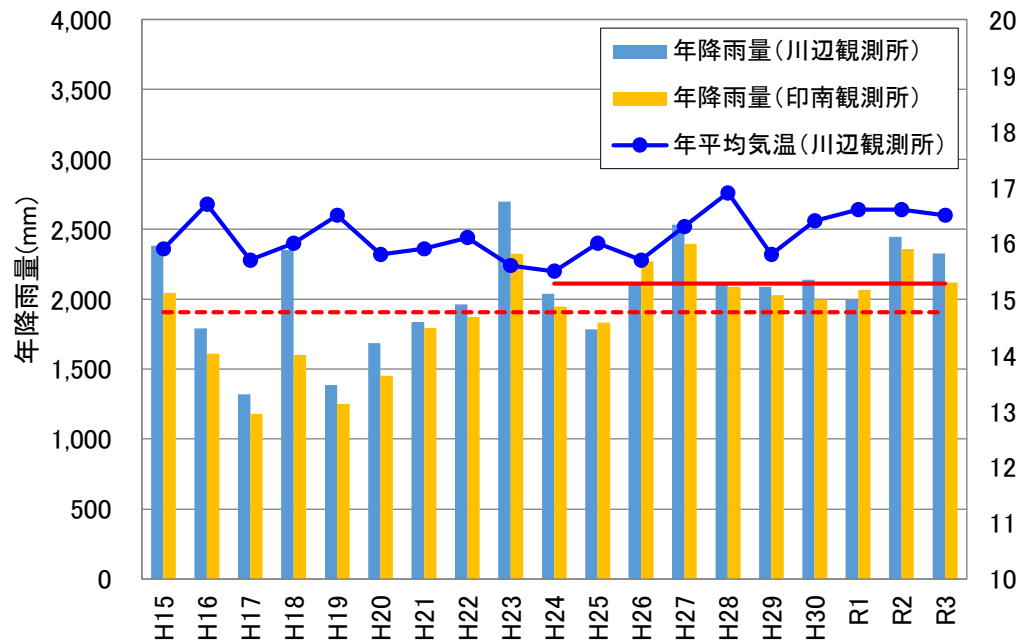


流域及び河川の概要

○流域の気候

- 南海気候区に属し、年平均気温は約16°C(川辺)
- 年平均降水量は約2,110mm(印南)で、全国平均(約1,700mm)を上回る

印南観測所・川辺観測所






年平均降水量と年平均気温



年降水量の分布図

流域及び河川の概要

○流域の生態系

区域	河道・周辺状況	動植物	状況
<p>上流 7.9k～9.9k (中越橋より上流)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・印南川の運搬・堆積作用によって形成された谷底平野 ・平地は農地として利用され、斜面には樹林地が残る ・河川は細く、水量も少ない 	<p>植物: ツルヨシ群落、ミゾソバ群落 アラカシを中心とした常緑広葉樹林等</p> <p>鳥類: カワラヒワ、シジュウカラ等</p> <p>魚類: カワムツ、ドジョウ等</p> <p>底生動物: ヤマトヌマエビ、ゲンジボタル等</p>	 <p>落差工 (8.9k) 上流</p>
<p>中流 1.4k～7.9k (印南頭首工～中越橋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・印南川の運搬・堆積作用によって形成された谷底平野 ・農地や樹林地の間を流れる 	<p>植物: ツルヨシ群落 アラカシを中心とした常緑広葉樹林、マダケ植林、キシウナキリスゲ、ユキヤナギ等</p> <p>鳥類: イワツバメ、ウグイス等</p> <p>魚類: コイ、オイカワ、カワムツ、ミナミメダカ、ボウズハゼ等</p> <p>底生動物: シロタニガワカゲロウ ヒメドロムシ科の水生昆虫等</p>	 <p>大洲橋 (1.9k) 上流</p>
<p>下流 (汽水域) 0.0k～1.4k (河口～印南頭首工)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海退で陸化して形成された海岸平野 ・河口域に護岸が存在し船舶の係留地 ・河川沿いは平坦な地形で市街地が形成 ・河川の両岸は堤防・護岸が整備 	<p>植物: ヨシ群落、カワヂシャ等</p> <p>鳥類: オオヨシキリ、セグロセキレイ等</p> <p>魚類: ミミズハゼ、ゴクラクハゼ、ボラ、クサフグ等</p> <p>底生動物: マガキ、モクズガニ、 ハバヒロコツブムシ等</p>	 <p>かえる小橋 (1.0k) 下流</p>

流域及び河川の概要

○重要種の選定基準

出典	略称	名称
1 文化財保護法等により定められている天然記念物	特天	特別天然記念物
	天然	国指定天然記念物
2 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律	国内	国内希少野生動植物種
	国際 緊急	国際希少野生動植物種 緊急指定種
3 環境省レッドリスト2020の公表について	EX	絶滅
	EW	野生絶滅
	CR+EN	絶滅危惧 I 類
	CR	絶滅危惧 I A 類
	EN	絶滅危惧 I B 類
	VU	絶滅危惧 II 類
	NT	準絶滅危惧
	DD	情報不足
	LP	絶滅のおそれのある地域個体群
4 和歌山県レッドリスト2022	EN	絶滅
	CR+EN	絶滅危惧 I 類
	CR	絶滅危惧 I A 類
	EN	絶滅危惧 I B 類
	VU	絶滅危惧 II 類
	NT	準絶滅危惧
	DD	情報不足
	SI	学術的重要

流域及び河川の概要

○生息する主な重要種(現地確認種)

- 魚類:ニホンウナギ(EN)、ドジョウ(NT,DD)、ミナミメダカ(VU,VU)、
イドミミズハゼ(NT,VU)、シロウオ(VU,CR+EN)
- 底生動物:ヒロクチカノコガイ(NT)、フネアマガイ(VU)、ヒメヒライソモドキ(NT,NT)、
台湾ヒライソモドキ(NT,NT)、カワスナガニ(NT,NT)、タベサナエ(NT)
- 鳥類:ハチクマ(NT,NT)、コシアカツバメ(NT)
- 植物:キシウナキリスゲ(VU、NT)、アコウ(NT)、カワヂシャ(NT、NT)

注)下線なし:環境省レッドリスト2020、下線:和歌山県レッドリスト2022



ミナミメダカ



フネアマガイ



ハチクマ



キシウナキリスゲ

流域及び河川の概要

○流域の歴史・文化・観光



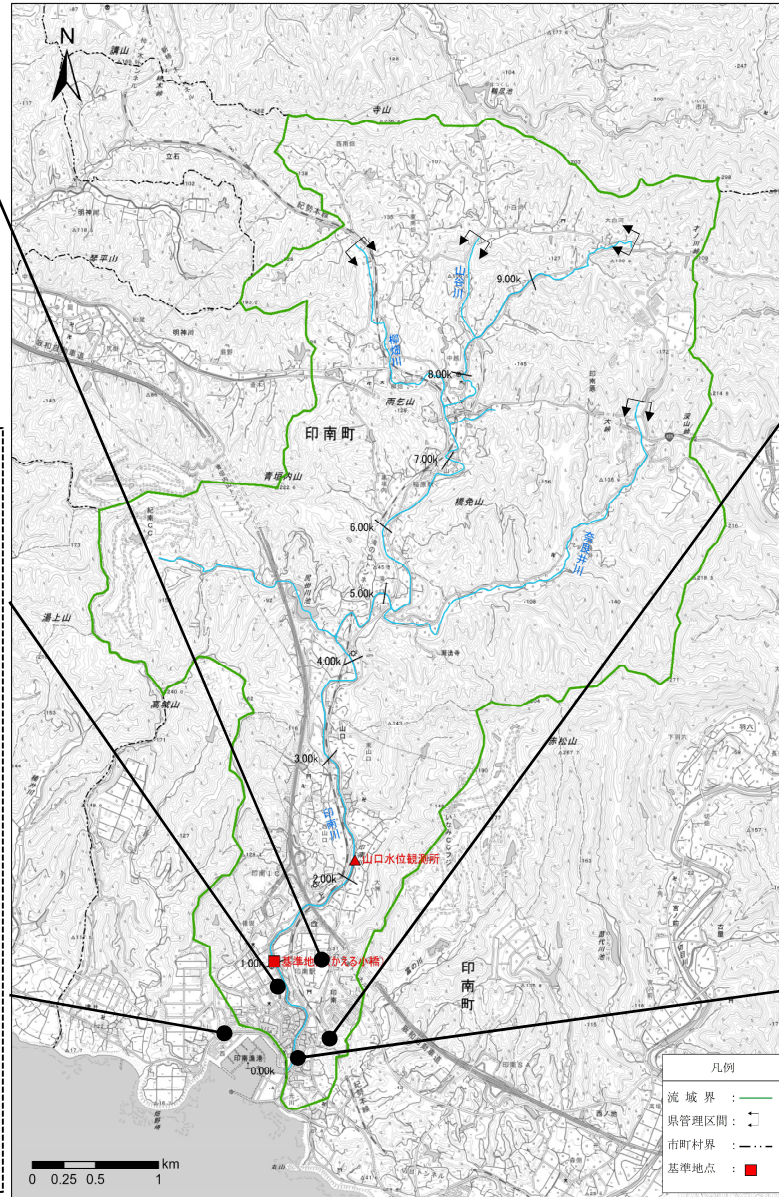
【かえる橋】



【印定寺】



【かつお節
モニュメント】



【東光寺】



【東光寺のナギ】



【印南八幡神社の祭り 川渡り】 13